



百歳おめでとう

- CONTENTS
- ・古川正隆新村長あいさつ
 - ・第17回村民祭
 - ・坂本米作さん百歳
 - ・カメラアイ
 - ・川柳北緯41°
 - ・保健コーナー
 - ・福祉サービス紹介⑥
 - ・お知らせ情報局
 - ・児童川柳ペンシル
 - ・行事予定
 - ・みつつけた
 - ・戸籍の窓口

広報

よもぎた



1997 No.269

ふるさとにしたい村づくりを 目指して

古川正隆新村長 就任あいさつ



先般の村長選挙においては、村民各位より多大のご支援をいただき心から感謝申し上げます。

わが村は先人のたゆまぬ努力により、産業、福祉、教育等各分野の振興を目指し、それぞれ着実に歩んでまいりました。

しかし、今、社会の変化はますます激しくなり、国際化が進み、自由競争が激化するなど情勢は極度に緊張の度合いを深めております。

まさに厳しい社会であり、われわれはこれを見事に乗り切って行かなければなりません。そのためには、村民一人ひとりが英知を出し合い、二十

一世紀を見据え互いに力を合わせて前進しなければと考えております。そうしてこそ「明るい豊かな住みよい」蓬田村像が見えてくるはずであります。

具体的な施策について述べることは他の機会に譲ることにしまして、基本的には次のような姿勢で臨む覚悟であります。

・農林水産業について

緊急の課題である「生産基盤の再整備」について、これからも着実に推進してまいります。

・保健福祉について

みんなの願いである「安心して仲良く暮らせる環境づくり」を進めてまいります。

・教育について

子どもたちが「心身とも健やかに学習できる環境づくり」を目指します。

これらを着実に実行するためには議会の協力が是非とも必要であります。私は議会の協力を仰ぎながら、さらに職員と一体となり、「ふるさとにしたい村づくり」のため一生懸命頑張る所存であります。村民の皆様の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

テーマ

夢
そして
実現
豊かな郷土

ふるさと



第17回 蓬田村民祭

十一月二日、第十七回村民祭（最上重雄運営委員長）が、農業者トレーニンングセンターで開催され、大勢の村民でにぎわいました。

午前九時、打ち上げ花火の合図で展示、即売の各コーナーを開場、村長職務代理者の八戸通正総務課長が開会を宣言しました。

各展示コーナーには、自慢の書や盆栽、川柳、陶芸、手の込んだパッチワーク作品などが並べられ、訪れた人の目を楽しませていました。

センター前広場では、農産物・鮮魚の即売が行われ、市価より安い野菜やアジ・サバなどを買い求め、商工会スタンプコーナーでは、お目当ての商品と交換して

いました。

また、漁協、農協の無料試食コーナーでは、炭火で焼いたホタテやイカ、蓬田産の新米「おかわりちゃん」で作ったおにぎりがサービースされ、来場者が味わっていました。

子どもたちに人気が高かったのは、イライラ棒のゲームコーナーや木製ブロックの立体パズルコーナーで盛んに挑戦していました。

午後からは、アトラクションが行われ、中学校太鼓クラブや老人クラブの会員など七団体が出演し、太鼓演奏、手踊りやコーラスゲームなどを披露し、観客から盛大な拍手や声援を受けていました。



本村初 めでたく100歳

坂本米作さん（長科）



長科地区に住む、明治三十年十一月二十日生まれの坂本米作さんが、めでたく村では初めての百歳になりました。

米作さんは、若い時に仕事だけがをした以外は大きな病気もせず、家業の農業を長男の日東さん（七十三歳）に託すまで、一生懸命に水田を耕してきました。

この間、昭和二十六年から三十年まで村議会議員を一期、部落会の役員などを務め、地域のために尽力して

きました。

誕生日の二十日には、古川正隆村長が坂本さん宅を訪れ「これからも健康に気をつけて、長生きをしてください」と励まし、記念に寝具一式と津軽塗の食卓セット、お祝いの金一封を手渡し、百歳を祝福しました。

米作さんは、天気の良い日は外に出て家の周りの草取りや庭木の剪定などを行っています。運動は欠かさず、庭が見える縁側まで移動し、家人が仕事に出掛ければ、

まきストーブで暖をとり、留守番するのが日課となっています。

兄嫁のタミエさん（六十七歳）は「食事はみんなと同じものを体調に合わせて腹八分目が基本、まったく手がからないほど元気、お年寄り三人暮らしですが、みんなで長寿を目指します」と話していました。

米作さんには現在、子どもが三人、孫八人、ひ孫十人がいらっしゃいます。

米作さんが生まれた明治30年（1897年）ごろは、こんなことがありました。

1893年	エジソン、映画を発明
1896年	アテネで第1回オリンピック大会
1898年	キュリー夫妻、ラジウムを発見
1901年	ノーベル賞第1回授賞式
1903年	ライト兄弟、初飛行
1904～05年	日露戦争
1905年	夏目漱石「吾輩は猫である」



カメラ アイ



気分は公立大生



11月16日、東郡の6町村の中学生が、青森市合子沢にある青森公立大学に1日体験入学しました。

このイベントは、青森市と東郡の6町村で組織する青森地域広域事務組合が、組合で設立した大学を地域の皆さんにもっと知ってもらうために実施したものです。

本村からも7名参加し、約85名の生徒たちが「中学生でもわかる経済学」や「パソコン」を勉強し、また、広い学生食堂で昼食を食べたり、大学構内を見学したりして、公立大生気分をちょっぴり味わいました。

交通事故抑止決起大会

11月21日、蓬田小学校体育館で、交通事故抑止決起大会が行われ、約400人が参加しました。

この大会は、今年に入り、村での交通死亡事故が11月13日現在で3件も発生したのに加え、交通事故発生件数も50件を超え蟹田警察署管内で一番多く“非常事態”と位置づけ開催したものです。

大会では、交通事故犠牲者に黙とうをささげた後、古川正隆村長が「11月21日から20日間を『蓬田村交通事故抑止期間』とし、地域総ぐるみで強力に活動を展開します」と宣言しました。

その後、鎌田幸造蟹田警察署長から交通事故概要の説明。天内鐵雄小学校長からは交通安全への提案がありました。最後に力強い決意表明を、小学生3名、中学生1名、一般代表者1名が行い、大会を閉じました。



反射林うけあまなを光らせて

●手造りの 味に隠した 愛もある
●苦勞せず 造った金の 怖さ知る
●捏造し またか原發 民だます
●こっそりと 出来栄え見てる 造り酒

富 昭 悦
榮 夫 子
年 榮

●かあとうりょう 嬢棟梁 日曜大工 茶も出ない
●酒造り 味見するうち 酔いが増す
●マイホーム 出来て人生 ひと区切り
●川柳の 造る作るで 頭痛む

藤 貴 藤
子 正 広 久

夜、東の空には、オリオン座の三つ星が輝き、陸奥湾ではイカつり船の漁火がまぶしい。
北へ行くフェリーと南へ飛ぶ白鳥たちのうた。
宇宙飛行士の土井さんに届いただろうか。

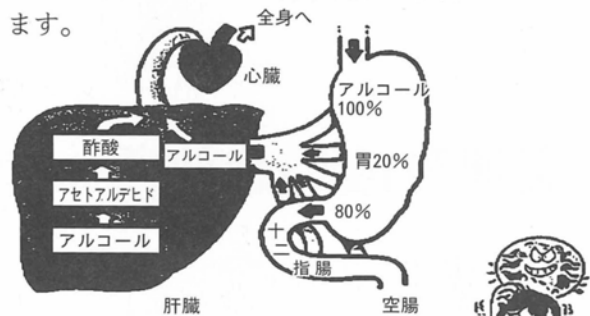
アルコールと健康

年末・年始で何かとお酒を飲む機会が増える時期です。「百薬の長」ともいわれるアルコールですが、飲み過ぎは健康障害を招く要因となります。定期的な健診で健康チェックを受け、アルコールと上手に付き合しましょう。

● 適量に飲んだ場合	● 飲み過ぎた場合
<ul style="list-style-type: none"> ・精神的にリラックスできる ・疲労回復につながる ・食欲の増進につながる ・善玉コレステロールが増える ・血液循環をよくする 	<p>▶いろいろな病気をひきおこす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肝機能の障害 ・消化器系の障害（胃かいよう・胃炎） ・成人病の助長（糖尿病・肥満・高血圧・高脂血・痛風など） ・脳の障害（アルコール性脳委縮など）

●アルコールの吸収・代謝

アルコールは胃や小腸などで吸収され肝臓で処理されます。適量をすぎるとアルコールは脳や全身に送られ、運動機能や言語機能に影響をおよぼします。

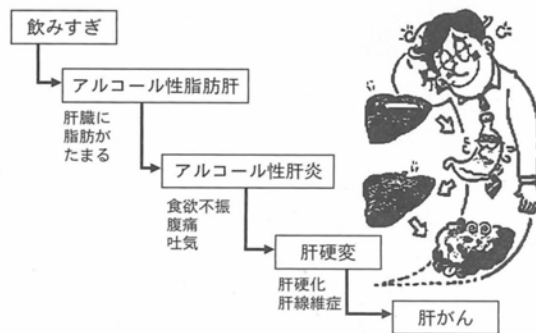


※アルコールは、胃で20%・十二指腸以下小腸で80%吸収されるため体内へのまわりが早いといわれています。



●アルコールによる肝臓障害

アルコールを過剰に摂取すると、脂肪として貯蔵されたり、肝臓での解毒作用が追いつかず、肝臓自身も障害をきたしてしまいます。



●アルコールは適量で

同量のアルコールを飲んでも、個人の体重(血液量)や分解酵素の差で、肝臓の処理能力も異なり、血中アルコール濃度にも個人差が生まれます。飲みすぎないように注意しましょう。

適量



●こわい飲酒習慣

適量以上の飲酒習慣は、アルコールが脳に作用して、幻覚や手足の震えなどを伴うアルコール依存症になります。

“人は人と飲む、人は酒を飲む、酒は人を飲む”の言葉のように、酒に飲まれないよう週2日の休肝日（週に2日はお酒を飲まない）と適量飲酒を心掛けましょう。

お年寄りのための 福祉サービス紹介 第6回

ホームヘルプサービス事業

ホームヘルパーの派遣対象となるのは、寝たきりや痴ほう、疾病による虚弱など日常生活を営むのに支障がある、おむね六十五歳以上の高齢者のいる家庭であって、高齢者や家族がサービスを必要とする場合です。

村では平成九年度から、ホームヘルパーの派遣対象を従来の高齢者のいる世帯だけでなく、重度の身体障害者、重度の心身障害児(者)、難病患者等の家庭にも拡大し、福祉サービスの向上を目指しています。

24時間体制で

ホームヘルプサービスの実施主体は村ですが、派遣の決定等の一部を除き、事業は村社会福祉協議会に委託されています。

現在ホームヘルパーの派遣を受けている世帯は三十世帯ほどありますが、平成八年度からは日中だけでなく、早朝・夜間・日曜祝日の利用にも対応し、介護者の負担軽減を図っています。平成十年一月からは特別養護老人ホーム蓬生園にもホームヘルプサービス事業の一部を委託予定です。平成十二年から開始される介護保険制度に向けて、二十四時間派遣体制づくりが急がれています。

利用方法

サービスを利用する場合は、役場福祉課に申し込んでください。保健婦やヘルパー、在宅介護支援センター職員が本人の状況確認に訪

問し、本人や家族の希望を聞いたうえで、訪問回数やサービスの内容を検討します。申し込みは在宅介護支援センターや社会福祉協議会でも受け付けています。

費用

生計中心者の所得に応じて、一時間当たり無料から最高九三〇円の負担があります。

村では現在、在宅福祉サービスの利用促進と充実を図るため、当面の間費用負担を減免(無料扱い)しています。

サービスの内容

ホームヘルパーは、次のようなサービスを提供することができます。

- ① 身体の介護に関すること
 - ・ 食事の介護
 - ・ 排せつの介護
 - ・ 衣類着脱の介護
 - ・ 入浴の介護
 - ・ 身体の清拭、洗髪
- ② 家事に関すること
 - ・ 調理
 - ・ 衣類の洗濯、補修

詳しくは……

- ① 各地区の民生委員
- ② 蓬田村役場福祉課
☎27-2111
- ③ 蓬田村社会福祉協議会
☎27-2828
- ④ 在宅介護支援センター蓬生園
☎27-3465

- ・ 住居等の掃除、整理整頓
- ・ 生活必需品の買物
- ・ 関係機関等との連絡
- ・ その他必要な家事
- ③ 相談・助言に関すること
 - ・ 生活、身上、介護に関する相談・助言
 - ・ 住宅改造に関する相談・助言
 - ・ その他必要な相談・助言



届け出は 基礎年金番号で

平成9年1月から、基礎年金番号制度がスタートしました。

それまでは国民年金、厚生年金保険、各共済組合の加入記録は、それぞれの制度ごとに年金番号が割り振られ管理されていたため、各個人について全制度を通じた加入状況の把握ができない問題がありました。

基礎年金番号ですべての年金に共通した「1人1番号」が実現したことにより、加入記録の整理が容易になり、年金に関する手続きや照会が速くなります。

退職により国民年金に加入する場合など、今後年金に関する届け出は、すべて基礎年金番号で行われることとなりますので、基礎年金番号通知書、または基礎年金番号が記載された年金手帳を持参していただくこととなります。

国内に住所のある20歳以上60歳未満の方は、いずれかの公的年金制度に加入す

ることが義務づけられていますので、現在未加入でいる方は国民年金に加入して、基礎年金番号を取得しましょう。

戦没者等の 遺族の皆様へ

国では、戦後50周年にあたり、改めて戦没者等の遺族の方に対して弔慰の意を表すため、特別弔慰金を支給しています。

特別弔慰金の請求については、平成7年4月1日から受け付けしていますが、まだ手続きをされていない遺族の方は、お早めに手続きをしてくださるようお願いいたします。

▼請求期限

平成10年3月31日

【お問い合わせ先】

蓬田村役場福祉課 福祉係

☎ (内線 232)



歳末たすけあい運動

報

情

局

お知らせ



元気なみさかの味 「ゆっくりでゆっくり」

今年も地域の農林水産物を活用した加工品コンクール「元気なみさかの味「ゆっくりでゆっくり」を開催します。

ブルーロード地域(東青地域)の農林水産物を主原料とした加工食品を募集します。伝統的なもの、独自に開発したもの、販売を考えているものなど、奮ってご応募ください。

また、ナマコを使った料理・加工品・お菓子などのアイデア食品も募集しています。

▼開催日・場所

・平成10年1月18日(日)

・サンロード青森 2階

▼募集対象者

・東青地域に住む農林漁家

・消費者(グループ・個人)

▼応募方法

・12月19日までに、所定の応募用紙に記入し、左記に郵送または持参してください。

▼応募・お問い合わせ先

・青森地域農業改良

普及センター

☎ 0177-731361

・蓬田村役場 農林水産課

☎ (内線 254)



宝くじの収益金は、私たちの街の公共事業に役立てられています。

★ 宝くじ全国大会★

年末ジャンボ

1億5,000万円

★ 1等6,000万円×228本
前後賞各4,500万円×456本

★ 発売期間 12月1日(月)～12月25日(木)

(発売総額2,280億円・76ユニットの場合)

1等	6,000万円	228本
1等の前後賞	4,500万円	456本
1等の繰上賞	10万円	22,572本
2等	1,000万円	228本
3等	100万円	3,800本
4等	5万円	228,000本
5等	1万円	780,000本
6等	3,000円	7,800,000本
7等	300円	78,000,000本

抽せん日: 12月31日(水)

1枚300円

お問い合わせ先 tel.03-3598-3771

※全国都道府県及び2指定都市

※この広報事業は財団法人全国市町村振興協会の後援を得ています。

ペンシル



題「友」
天位 木村亜友美さん

●佳作

ともだちのたんじょう日にプレゼント
友だちはやさしくしたりいろいろだ
親友がそうだんのってくれたのさ
ケンカしておこっていても友だちだ
お友だちいざといたらたすけてる
中休み友のいじわるゆるせない
友だちに手をさしのべたらありがとう
つばさくんがせがたかいわからぬ
かなしみはみんなでわけあうものだから
友だちはいい人ばかり思ひ出す
やさしいなこころづよいなそばにいて
友だちはびんぼうぐらしあきてい
しあわせをもたらしているともだち
なかまですたすけてくれる友だちは
大切なものはひとつさ友だちさ
ともだちがこけてころんでちをながす
ともだちにてがみをだしてあそんだよ
友だちはまほうでとりになつたんだよ
友達の声なきこえるいい朝だ
みんなのはそれぞれゆめはちがうんだ
天気の良い空は二人の友がいるよ
けんかして三分ライメンできあがり
ともだちのはいつもあたたかいきぶん

●五客

2年 稲葉 絢美
4年 松本亜佐子
3年 坂本友紀乃
4年 山本 陽子
3年 森 千佳子
4年 藤本 康幸
3年 相内香奈江
3年 兼平 雅俊
4年 木村亜友美
2年 久米田吉弘
3年 武井 優奈
4年 大宮亜由美
2年 松本駿太郎
3年 今 美幸
5年 森 かわり
3年 八戸 隆仁
4年 石田 明信
4年 大宮亜由美
5年 高松未由樹
3年 今 美幸
3年 小山 竜
4年 藤本 結子
4年 木村亜友美



選評 傘松川柳同好会長 さざき蓬石さん

傘松川柳同好会のさざき蓬石です。みなさんの川柳を選することになりましたのでよろしくお願ひします。

このたび「友」の題で川柳を募集したところ一七八句の応募があり、句の中にいろいろな友達が見られました。みなさんが川柳に対して関心のあるのに力強く思っております。これから頑張ってください。

人位 青空に友達、さわやかな句です。

地位 ライメン出来て仲直りして一緒に食べたかな。

天位 肌で友達のぬくもりを感じたことに心ひかれました。

テレホンガイド

役 場	27-2111	保 育 所	27-2180
教育委員会	31-3200	幼 稚 園	27-2042
FAX	31-3201	小 学 校	27-2069
中央公民館	27-2076	中 学 校	27-2038
トレセン	27-3010	社会福祉協議会	27-2828
スキー場	27-3090		27-2077
よもぎ温泉	27-2170		

12 DECEMBER

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			



12月行事予定表

開催日	曜日	行 事 名	場 所	時間	担 当
1	月	書道教室	中央公民館	13:30	中央公民館
3	水	陶芸教室	〃	9:00	〃
5	金	人権特設相談所	〃	10:00	住 民 課
8	月	書道教室	〃	13:30	中央公民館
11	木	乳児健診	〃	13:00	福 祉 課
15	月	書道教室	〃	13:30	中央公民館
16	火	平成9年度自治会長・行政連絡員合同会議	〃	〃	総 務 課
17	水	陶芸教室	〃	9:00	中央公民館
22	月	書道教室	〃	13:30	〃
〃	〃	スキー場開き (開設期間12/23~3/22)	ス キ ー 場	14:00	社会教育課
23	火	叙勲受章者を祝う会	ト レ セ ン	13:30	総 務 課

戸籍の窓



人口と世帯数
(10月31日現在)

総人口 3,759人
男 1,786人
女 1,973人
世帯数 1,092世帯

10月受付分

お誕生おめでとうございます

下山 北斗 (孝代) 長男
小鹿 玲菜 (孝敏) 長女
高田 ひより (一憲) 二女
(美由紀)

ご結婚おめでとうございます

(佐井 但輔 (広瀬)
木立 鈴子 (青森市))

おくやみ申し上げます

坂本 金作 (中沢) 73歳
越田 かせ (広瀬) 89歳
八幡 ハル (高根) 88歳
越田久美子 (広瀬) 17歳
高田よんこ (郷沢) 83歳



蓬田中学校では、三沢基地エドグレンハイスクールと国際交流を行っています(先月号でも紹介)。

11月12日、2学年(50名)が三沢基地を訪問し第2回目が実施されました。

開会セレモニーではドリルチームの演技の後、ブルース校長が日本語で歓待してくれました。

午前の交流会ではグループに別れてハイスクールの授業を参観しました。

午後はバスケットボールの親善試合を行い、訪問校では初めてという、「蓬中」が勝利しました。

最後にラテンアメリカダンスを鑑賞し、ハロウィーン・イースター・クリスマスなどのお祭りで使う物を実際に作りました。

日本との勉強の仕方の違いや、アメリカ文化を体験し、有意義な一日を過ごしました。

エドグレン
ハイスクールを訪問

蓬田中学校国際交流

みつけた

113

白鳥が飛来し、冬本番間近の11月19日、村に新しいロータリー除雪車が納車になりました。

これは今までのロータリー車が、購入後16年を経過し、



老朽化が著しいため、建設省の補助事業で更新しました。従来より50馬力アップされ250馬力の新車は、雪から村道を確保するため、威力を発揮します。

編集後記

丑年も残り一カ月。国の行財政改革、銀行・証券会社の経営破たん、地球温暖化を防ぐための二酸化炭素削減問題など激動の一年が過ぎようとしています。来年は、長野冬季五輪、サッカーワールドカップなどスポーツ大会が目白押し。明るい年になってほしいものです。身近な話題・写真などお待ちしています。電子メールでも受け付けます。アドレスは、

yomogita@infoamori.ne.jp